



弘大COI企業へ紹介

京 東

村下氏 「健康」など事業説明

東 京

「岩木健康増進プロジェクト」などを展開する弘前大学COIの村下公一教授が8日、

講演には首都圏の企業、大学、同省の関係者ら約70人が訪れた。

解析している点などを特徴として挙げた。

弘大は文科省の研究開発支援事業・革新的イノベーション創出プログラム「COI（センター・オブ・イノベーション）STREAME」の採択を受けて事業を展開しており、

文部科学省で首都圏の企業関係者ら向けに講演し、健康寿命延伸を目標とした最新の取り組み状況を紹介した。

村下氏は、本県の「日本の短命県」返上を目指して岩木健康増進プロジェクトを12年間続けており、延べ2万人の健診データを蓄積していると説明。

さらに、一般市民の健康教養（ヘルスリテラシー）向上や健康改善を目指し、大手企業と連携した取り組みを多方面で展開していることを紹介した。

七つある医療・健康系のCOIで唯一、最高ランクの「S」を獲得した。

弘大COIの取り組みを説明する村下教授（右）

多因子が複雑に影響し合って現代病が発症していることを踏ま

最後に村下氏は、地元地域や幅広い分野の企業と密接に関わって

（長内忠光）